



主治医の一言

第 32 号
平成 31 年 3 月発行
内科 刀塚俊起

白血病

☆どうぞご自由にお持ち帰りください☆

年が明けて早 3 月、もう春は目前です。毎日、様々なニュースが飛び交い、ビッグニュースに驚いていると、次の更に大きなニュースに前のことを忘れてしまうような昨今です。それにしても、若手有望の水泳選手が白血病と分かった時の衝撃は、日本中を駆け巡りました。今日は、白血病についての話をしましょう。白血病は、血液のがんと言われる血液悪性疾患の代表です。特に若い世代が白血病になることにより、悲劇的ドラマで扱われる病気の代表となりました。白血病は、小児から成人、高齢者まであらゆる年代で起こります。発症頻度は人口 10 万人あたり年間 6.3 人と以外と多い疾患です。ここで言う白血病は、「急性白血病」です。急性白血病は、治療をしなければ 2 - 3 ヶ月以内に死亡するという電撃的な疾患です。それに対して、慢性白血病は、数年から 10 年にわたりゆっくりと経過しますので、同じ白血病でも全く違う病気と言ってもよいです。



化学療法の進歩

白血病の生存率は、1950 年頃は 5 % 以下でした。戦後の医学における抗がん剤による治療(化学療法)の急速な進歩により治癒が見込める病気へ大きく変わったのです。白血病は、大きく分けて「骨髄性」「リンパ性」の二つに分類されます。この 2 種類の病気は、がん化した細胞の違いによって分れます。骨髄球から好中球となっていく細胞ががん化したのが、骨髄性白血病です。それに対して、リンパ球ががん化したのが、リンパ性白血病です。細胞が違いますので、同じ白血病でも、使用する薬剤が異なります。今日の化学療法は多剤併用療法といい、効果的な薬剤を 3 剤から 4 剤を併用することによって、治癒率を上げてきました。化学療法によって、完全寛解(一端病気が治ったようにみえる状態)にまず持っていくのが、治療の最初の目標です。(ウラに続く)

♪糖尿病教室♪ ※糖尿病以外の方、ご家族も大歓迎です。

3月13日(水) 糖尿病の検査 臨床検査技師：羽田麻美

時間：16：30～17：30 場所：真生会富山病院 本館3階 わかば病棟カンファレンス室

3月27日(水) 糖尿病 質問コーナー 日本糖尿病療養指導士：松田真理子、今城都志枝

時間：16：30～17：30 場所：真生会富山病院 本館3階 わかば病棟カンファレンス室

♪アラカンカフェ(男性の定年後の生活を考える集まりです)♪ 代表：刀塚俊起、古谷正晴

3月16日(土)16:00～17:30 場所：橋下条コミュニティセンター★対象：65歳以上の男性★
講演：利他と他者への貢献について 講師：古谷正晴

※アラカンカフェについて御質問などがありましたら、フロアマネジャー(黄色の制服)にお尋ねください。

この完全寛解まで、80%の白血病は到達できるようになりました。大変、素晴らしい医学の成果です。

白血病の治療

白血病では、骨髄中の血球が白血病細胞というがん細胞で置き換わっています。化学療法は、白血病細胞を全部殺してしまう治療ですが、その反面、正常の血液細胞も大きな打撃を受けます。化学療法によって白血球数は大幅に減少します。白血球は身体を細菌や真菌などの微生物から守る働きをしています。防護がなくなりますので、患者は感染症になりやすくなります。この感染症を予防し、発熱があれば抗生剤で治療を行います。また正常の血液が減りますので、赤血球、血小板の輸血が必要になります。これらを乗り越えて、悪性細胞を一掃して、正常の血液細胞に戻すというのが、白血病の治療です。丁度、町を占拠している白血病というテロリスト集団を、抗がん剤という武器を使って掃討する作戦です。それには味方の犠牲も強いられるのです。ところが問題は、一旦治ったように見えた白血病が再発することです。一見治ったようにみえても白血病細胞が骨髄の中に潜んでいるのです。再発により生存率は十分ではありません。この壁を破ったのが骨髄移植です。骨髄移植を行うことによって、治癒率を大幅に向上させることができます。

骨髄移植とは

骨髄移植とは、患者の白血病細胞で犯された骨髄を大量の抗がん剤と放射線ですくって空っぽにして、そこに健康な他人の骨髄細胞を移植する方法です。骨髄移植には、ドナーと言われる提供者が必要です。最も合致するのはきょうだいですが、その確率は4分の1です。骨髄バンクに登録されたボランティアで骨髄を提供する人があって初めて、多くの患者さんへ移植が可能となります。登録者が年々減っているのが課題でしたが、今回の選手の告白は、ドナー登録者の増加に影響しました。なぜ多くの人の協力が必要かと言いますと、血液型はA,B,O,AB,Rh+ しかありませんが（正確にはもっとありますが、詳細は割愛します。）白血球の型は遥かに多く数万通りあるのです。これをHLA(human leukocyte antigen)と言います。この型にはA,B,C,DR,DQ,DPの抗原がおのおの数通りがあるのです。それが合致しないと移植はできません。日本人は単一民族ですので、合致率は高いもののドナーが見つからず骨髄移植を断念しなければならない患者さんもまだ多くあります。また、骨髄移植は身体に大変な負担がかかる治療です。成功には年齢が大きな要素となります。これらの治療を乗り越えるには、強い基礎体力と精神力が必要です。若きアスリートの健闘を見守りたいと思います。



♪健康ワンポイント教室♪

3月14日(木) 時間:14:00~15:30 場所:真生会富山病院 総合受付周辺(本館1階)

腎臓が気になる皆さんへ健康になれるよう一緒に学びましょう!~Kidney Health For Everyone Everywhere~

講師:波部孝弘(医師)、和泉秀俊(看護師)、結川美帆(管理栄養士)、種田啓之(理学療法士)、

佐賀真也(作業療法士)、林佳祐(理学療法士)、今城都志枝(看護師・糖尿病療養指導士)、

松田真理子(看護師・糖尿病療養指導士)、医療ソーシャルワーカー